

■ 安全性

- 競技車両の外側及びコクピット内に危険な突起物があるてはならない。
- ドライバーの服装は肌の露出のない物を着用すること。(長ソデ、長ズボン)
- ドライバーはシューズとグローブとヘルメット(市販のオートバイ用ヘルメット)を装着すること。
- 緊急の場合に備え、ドライバーは速やかに自力で車両から脱出が出来ること。
- 警笛は市販のオートバイ用もしくは防犯ベル、スポーツホイッスル等を装備すること。
- 安全な走行を確保する視界を有すること。
- 後方視界を確認できるバックミラーを2個以上装着すること。
- 体重調整用ウエイトはトラブル時を想定した安全で確実な固定方法で車体に取り付けること。
※ ボルトナットのネジ類、タイラップ、インシュロックなどの結束バンド等を用い、ズレや外れが無い様に固定すること。
ガムテープ、荷造りテープ等での固定は不可とします。

■ 車検

- 競技に参加するすべての車両は、車検を受けなければならない。
- 競技長より車両の修正を命じられ、時間内にこれを行えない場合は競技に参加することは出来ない。
- 車検終了後は車両規則に定めた内容に関して変更してはならない。
- 競技終了後、入賞候補車両は再車検を受けなければならない。(体重、バッテリー、自力脱出)

■ ゼッケン

- 参加車両は主催者が支給するゼッケン(直径約20cm円形)2枚を車体左右側面の確認しやすい場所に貼らなければならない。

■ ドライバーの体重

- オープンクラス : ドライバーの体重は70kg以上とする。
- エコハイ部門 : ドライバーの体重は70kg以上とする。

※ 規定体重に満たないドライバーは、不足分の体重調整用ウエイトを塔載することとする。

※ ウエイトは車検時、スタート前、ゴール後の再車検時に検査することとする。

※ ウエイトは3分割まで分けて車載することが出来る。

※ ゴール後にドライバーはウエイトを単独で取り外して体重測定をしなければならない。

■ ドライバー

- 出場校の生徒